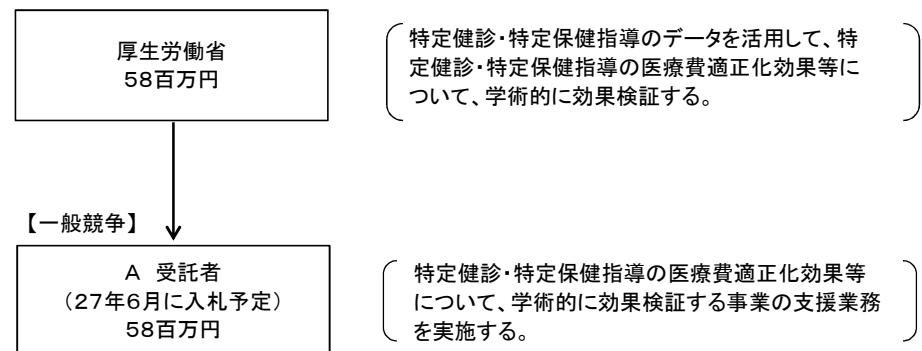


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)							
事業名	特定健診・保健指導における医療費適正化効果検証事業			担当部局	保険局		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室 室長 安藤 公一		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-		
主要政策・施策				主要経費	社会保障		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定健診・特定保健指導データ及びレセプトデータを活用して、特定健診・特定保健指導の医療費適正化効果等について学術的に検証する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・特定保健指導の医療費適正化効果の検証 ・保健事業環境の調査及び特定保健指導の実施方法の検証 ・医療費地域差の背景分析や都道府県が医療費目標を推計するための推計ツールの作成 						
実施方法	委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	当初予算	-	-	-	58	65	
	補正予算	-	-	-	-		
	前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
	翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
	予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	58	65	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	効果検証報告書、地域医療費の見える化データセット及び推計ツールの作成	報告書等の件数	件	-	-	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	効果検証等のためのワーキンググループの開催	回	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X/Y=報告書等の公表までにかかった経費 X:総事業費 Y:報告書等公表数	単位当たり コスト 円/一式	-	-	-	19,333,333	
		計算式 X/Y	-	-	-	58,000,000/3	
平成27 年度 予算内訳 (単位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
	医療費適正化業務庁費	58	65	「新しい日本のための優先課題推進枠」65			
	計	58	65				

事業所管部局による点検・改善						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民の生活習慣病予防の観点から、国民のニーズがある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	特定健診等の効果検証は全国規模で実施する必要があることから、国費を投入し国が主体的に取り組むべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	全国規模で取り組む特定健診等の効果を検証し公表することは重要であり、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札(総合評価落札方式)により選定する予定。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低成本で実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
	関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					